

モニタリング用フェロモントラップについて

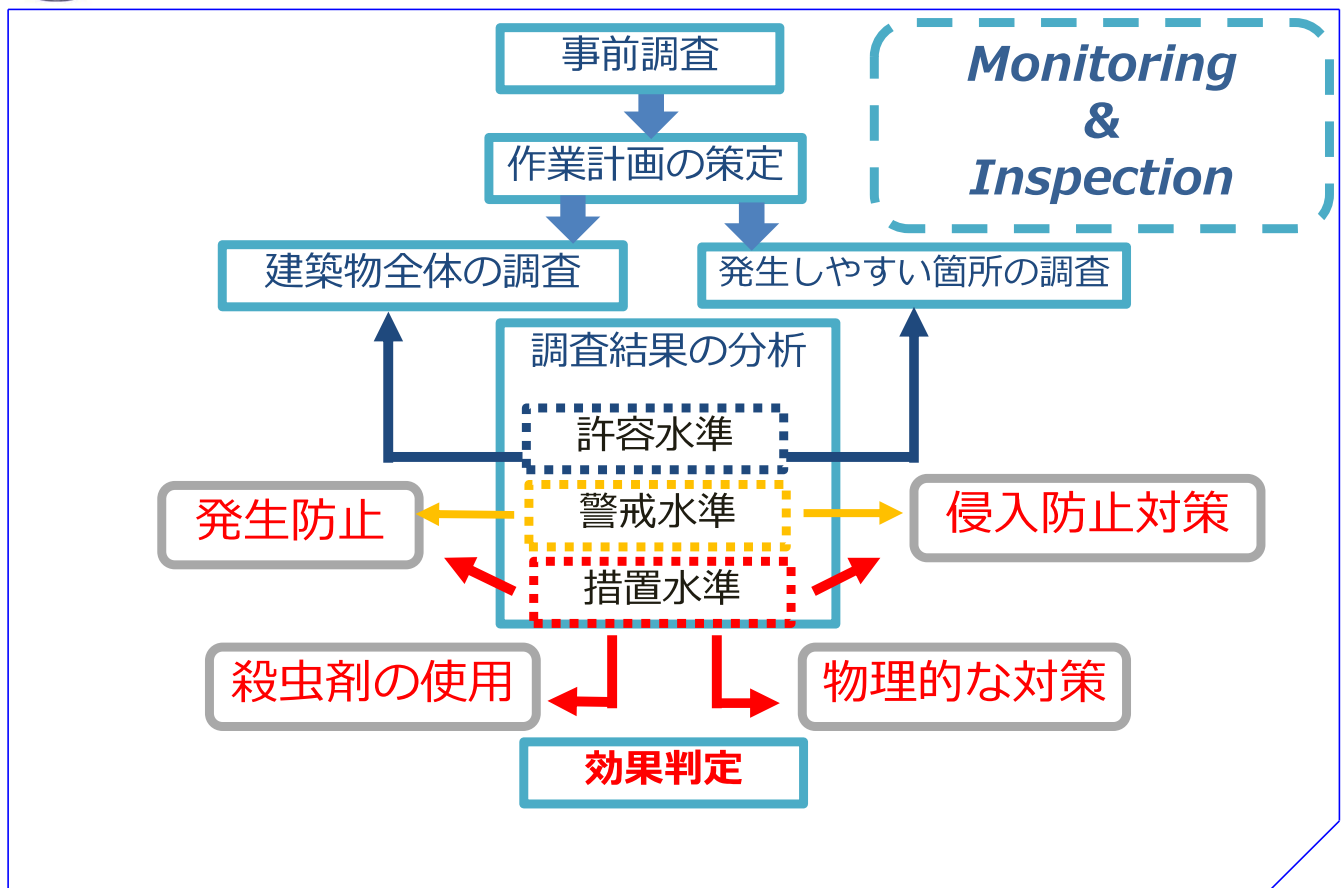


営業部 国内営業担当
古田 直樹

富士フレイバー株式会社



IPMによる害虫対策の流れ





主なモニタリング用トラップ

ひとの
ときを、
想う。 JT

粘着トラップ

チャタテムシ、クモ、ゴキブリ等

ランダムに虫を捕獲

誘引元：なし

ライトトラップ

チョウバエ、クロバネキノコバエ、ユスリカ等

走光性の虫を強く誘引

誘引元：紫外線

フェロモントラップ

シバンムシ、メイガ等の貯穀害虫

特定の虫を強く誘引

誘引元：フェロモン

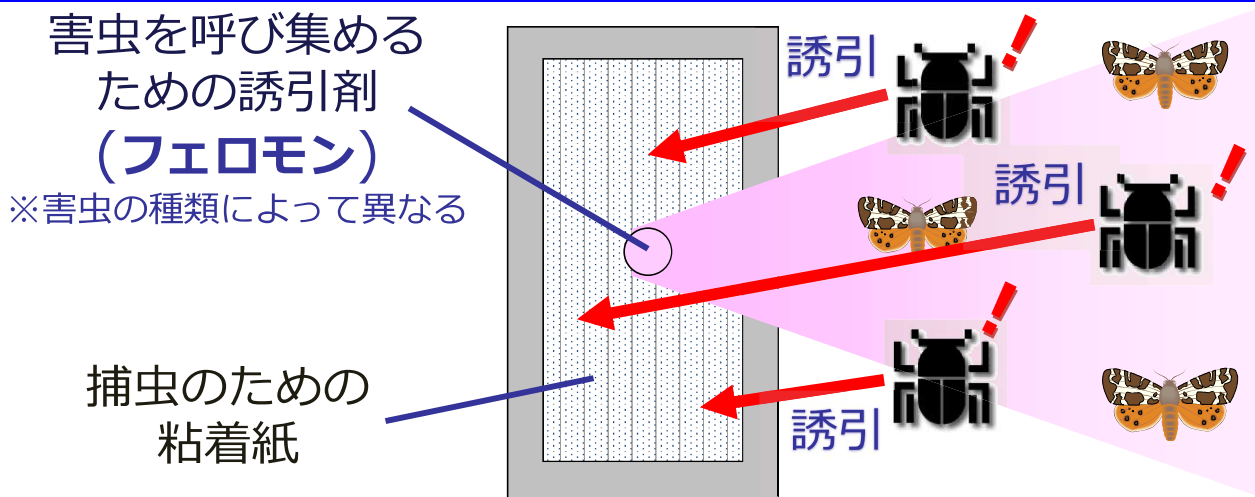
Copyright Fuji Flavor Co., Ltd. All rights reserved

15/28



フェロモントラップの原理

ひとの
ときを、
想う。 JT



①隠れている虫も大気中に揮散されるフェロモンで強かに誘引

➡ 高い捕虫性能があり、高感度なモニタリングが可能

②特定の害虫だけが捕まるトラップ

➡ 同定が不要で誰でも使用可能

Copyright Fuji Flavor Co., Ltd. All rights reserved

20/28